

令和元年度



# 県民世論調査

県の基本政策について

南海トラフ地震対策について

障害者差別解消について

第3期産業振興計画 ver. 4について

暮らしと環境、地球温暖化について

特殊詐欺について

集落活動センターについて

高 知 県

# はじめに

高知県は、全国に先行した人口の自然減や、これに伴う経済規模の縮小、災害の多発といった数多くの課題に直面しています。

こうした困難な課題に県民の皆様と共に立ち向かっていくため、県では、産業振興計画の推進による「経済の活性化」をはじめ、「日本一の健康長寿県づくり」、「教育の充実と子育て支援」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」、「インフラの充実と有効活用」の5つの基本政策に基づいた取組を進めるとともに、それらの政策に横断的に関わる政策として「中山間対策の充実・強化」、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」、「文化芸術とスポーツの振興」に向けた取組を進めています。

その結果、例えば一人当たり県民所得は近年、全国の倍の伸びを見せており、長年にわたり生産年齢人口の減少と連動する形で減少傾向にあった県内総生産や各産業分野の産出額も上昇傾向に転じるなど、高知県は着実によい方向に向かっていきます。

こうした傾向をより一層確かなものとするためには、県民の皆様のニーズを的確に把握、分析し、政策づくりに生かすことが大変重要と考えており、本年度においても本調査を実施したところです。

本年度は、「県の基本政策」、「南海トラフ地震対策」、「障害者差別解消」、「産業振興計画」、「暮らしと環境、地球温暖化」、「特殊詐欺」、「集落活動センター」の7つのテーマについて、調査を行いました。

これらの調査に集約された県民の皆様の声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

この調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和元年12月

高知県総務部長 君塚 明宏

# 目 次

ページ

I	調査の設計	1
II	調査結果の見方	2
III	調査対象者の特性	4
	1. 広域市町村圏別の配布・回収状況	4
	2. 対象者の特性	4
IV	調査結果〔解説・グラフ〕	8
	〔1〕 県の基本政策について	8
	〔2〕 南海トラフ地震対策について	38
	〔3〕 障害者差別解消について	104
	〔4〕 第3期産業振興計画 ver. 4について	124
	〔5〕 暮らしと環境、地球温暖化について	130
	〔6〕 特殊詐欺について	162
	〔7〕 集落活動センターについて	199
V	調査結果〔数表〕	207
VI	調査票〔単純集計結果〕	283

# I 調査の設計

## 1. 調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の事項

- (1) 県の基本政策について
- (2) 南海トラフ地震対策について
- (3) 障害者差別解消について
- (4) 第3期産業振興計画ver. 4について
- (5) 暮らしと環境、地球温暖化について
- (6) 特殊詐欺について
- (7) 集落活動センターについて

## 3. 調査の対象

県内全域から18歳以上の県民3,000人を抽出（各市町村の「選挙人名簿」より）

## 4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

## 5. 調査の方法

郵送法

## 6. 調査の期間

令和元年8月28日（水）～9月20日（金）までの24日間

## 7. 実査および集計

株式会社 トミーコーポレーション

## 8. 調査票配布数と回収状況

配布数 3,000票

有効回収数 1,718票（有効回収率 57.3%）

## Ⅱ 調査結果の見方

1. 「Ⅳ 調査結果〔解説・グラフ〕」は「Ⅴ 調査結果〔数表〕」に基づき、要点のみを記述してあるので、「Ⅴ 調査結果〔数表〕」をあわせて参照すること。
2. 「Ⅴ 調査結果〔数表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（％）算出の基礎となっている。
3. 「Ⅴ 調査結果〔数表〕」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率（％）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4. 質問への回答方法は「1つだけ○印（どちらかに○印）」、「2つまで○印」、「3つまで○印」、「5つまで○印」、「当てはまるものすべてに○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 副問については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）及び回答者別（質問間クロス）で分析した。

F1	性	別	…	男性、女性、その他の3種類に分類					
F2	年	代	別	… 10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の7階層に分類					
F3	職	業	別	… 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦・主夫、学生、無職、その他の12種類に分類					
F4	属	性	別	… 世帯主、世帯主ではない（世帯員）の2種類に分類					
F5	婚	姻	状	況	別	… 未婚、既婚、その他（離別、死別を含む）の3種類に分類			
F6	子	ど	も	の	状	況	別	… 就学前の子どもがいる、小・中学生の子どもがいる、高校生の子どもがいる、大学生・専門学校生等の子どもがいる、子どもは成人している又は独立している、子どもはいないの6種類に分類	
F7	世	帯	の	年	間	収	入	別	… 0～100万円未満、100～200万円未満、200～300万円未満、300～400万円未満、400～600万円未満、600～800万円未満、800～1,000万円未満、1,000万円以上の8種類に分類
F8	住	ま	い	の	状	況	別	… 持家、借家の2種類に分類	

F9 広域市町村圏別 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類

F10 沿岸部別 … 沿岸部、非沿岸部の別

※ 対象者の職業別、広域市町村圏別及び沿岸部別判定は次のとおりである。

◆職業別

農 林 業	}	(主婦・主夫の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を選択)
漁 業		
商工サービス業自営		(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事務職		(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く)
技術職		(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士、教員など、課長以上を除く)
労務職		(現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管理職		(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自由業		(医師、弁護士、画家、僧侶など)
主婦・主夫		(家庭内の仕事が一日で最も多い場合)
学生		(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無職		(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
その他		(上のいずれにも属さないもの)

◆広域市町村圏別

高 知 市	
安 芸 広 域 圏	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村 馬路村、芸西村
南国・香美広域圏	南国市、香南市、香美市
嶺北広域圏	本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁淀川広域圏	土佐市、いの町、日高村
高吾北広域圏	佐川町、越知町、仁淀川町
高 幡 広 域 圏	須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡 多 広 域 圏	宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

◆沿岸部別

居住地が沿岸部であると判断する目安は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5km（または車で約10分）を目安とする。

### Ⅲ 調査対象者の特性

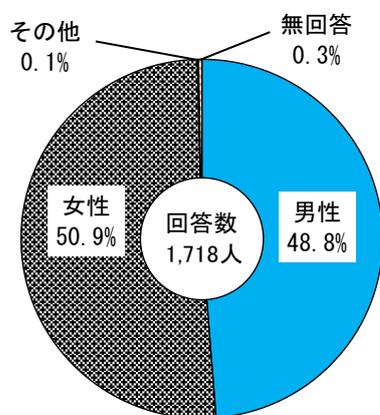
※構成比は小数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合もある。

#### 1. 広域市町村圏別の配布・回収状況

広域市町村圏	配布数（人）	有効回収状況		
		回答数（人）	回収率（%）	構成比（%）
高知市	1,363	842	61.8	49.0
安芸広域圏	208	107	51.4	6.2
南国・香美広域圏	442	244	55.2	14.2
嶺北広域圏	51	26	51.0	1.5
仁淀川広域圏	234	101	43.2	5.9
高吾北広域圏	103	58	56.3	3.4
高幡広域圏	234	134	57.3	7.8
幡多広域圏	365	189	51.8	11.0
無回答		17		1.0
合計	3,000	1,718	57.3	100.0

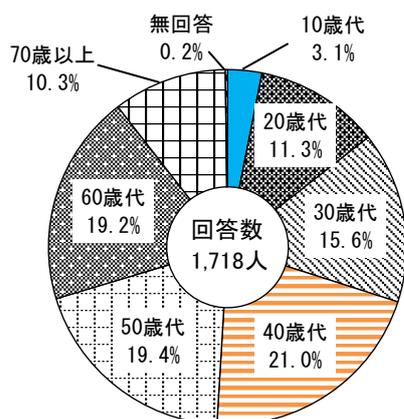
#### 2. 対象者の特性

##### F 1 性別



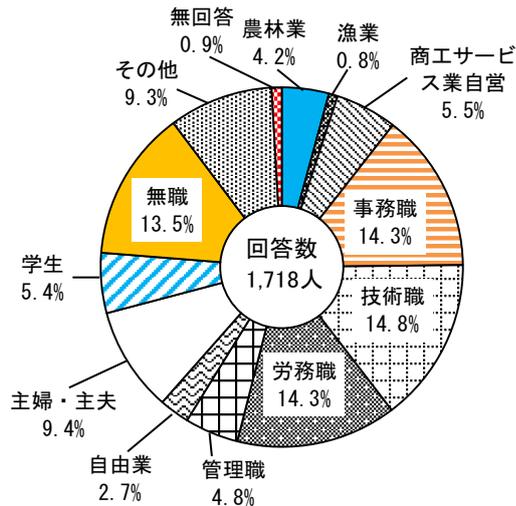
区分	回答数（人）	構成比（%）
男性	838	48.8
女性	874	50.9
その他	1	0.1
無回答	5	0.3
合計	1,718	100.0

##### F 2 年代別



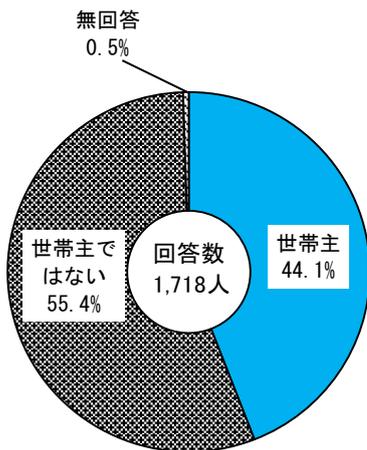
区分	回答数（人）	構成比（%）
10歳代	53	3.1
20歳代	194	11.3
30歳代	268	15.6
40歳代	361	21.0
50歳代	333	19.4
60歳代	329	19.2
70歳以上	177	10.3
無回答	3	0.2
合計	1,718	100.0

### F 3 職業別



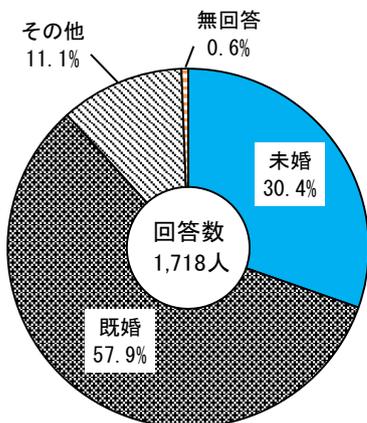
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	73	4.2
漁業	14	0.8
商工サービス業	94	5.5
事務職	245	14.3
技術職	255	14.8
労務職	246	14.3
管理職	83	4.8
自由業	47	2.7
主婦・主夫	161	9.4
学 生	92	5.4
無 職	232	13.5
その他	160	9.3
無回答	16	0.9
合 計	1,718	100.0

### F 4 属性別



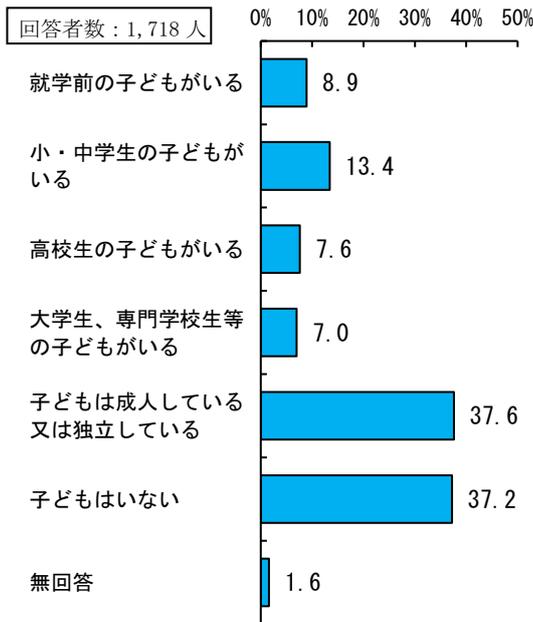
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
世帯主	758	44.1
世帯主ではない	952	55.4
無回答	8	0.5
合 計	1,718	100.0

### F 5 婚姻別状況



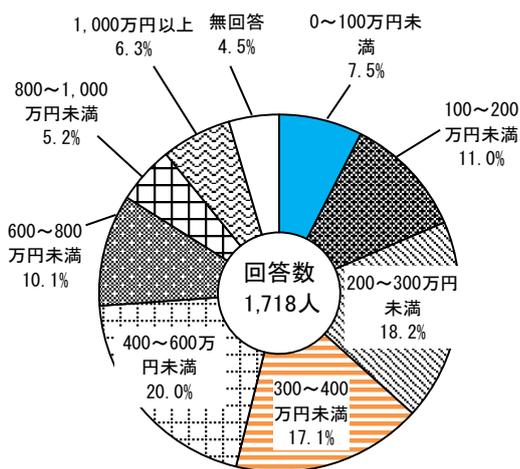
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
未 婚	522	30.4
既 婚	995	57.9
その他	191	11.1
無回答	10	0.6
合 計	1,718	100.0

### F 6 子どもの状況別（複数回答）



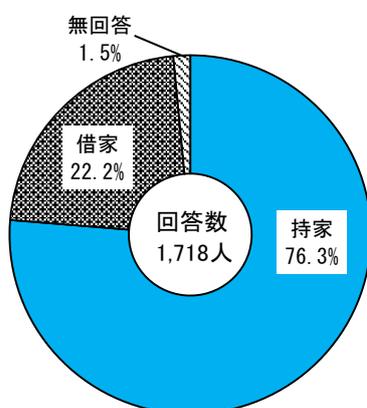
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
就学前の子どもがいる	153	8.9
小・中学生の子どもがいる	230	13.4
高校生の子どものいる	130	7.6
大学生、専門学校生等の子どもがいる	120	7.0
子どもは成人している又は独立している	646	37.6
子どもはいない	639	37.2
無回答	28	1.6
合計	1,718	

### F 7 世帯の年間収入別



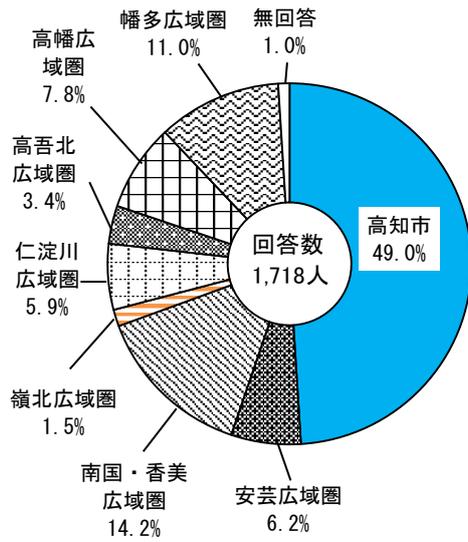
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
0~100万円未満	129	7.5%
100~200万円未満	189	11.0%
200~300万円未満	312	18.2%
300~400万円未満	294	17.1%
400~600万円未満	344	20.0%
600~800万円未満	174	10.1%
800~1,000万円未満	90	5.2%
1,000万円以上	108	6.3%
無回答	78	4.5%
合計	1,718	100.0%

### F 8 住まいの状況



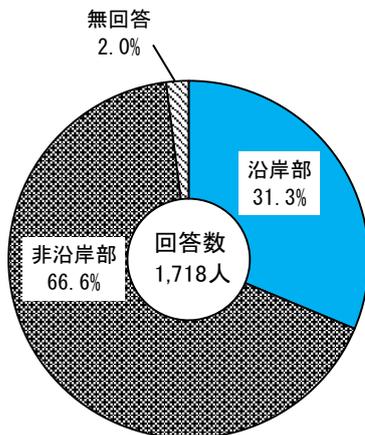
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
持家	1,310	76.3
借家	382	22.2
無回答	26	1.5
合計	1,718	100.0

### F 9 広域市町村圏別



区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
高知市	842	49.0
安芸広域圏	107	6.2
南国・香美広域圏	244	14.2
嶺北広域圏	26	1.5
仁淀川広域圏	101	5.9
高吾北広域圏	58	3.4
高幡広域圏	134	7.8
幡多広域圏	189	11.0
無回答	17	1.0
合 計	1,718	100.0

### F 10 沿岸部別



区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
沿岸部	538	31.3
非沿岸部	1,145	66.6
無回答	35	2.0
合 計	1,718	100.0